

笑顔とがんばりの町

おのまち議会だより

146号

平成28年
5月27日発行



子どもの笑顔広場で楽しく遊んだよ!
(小野町ふるさと文化の館)

主な内容

定例会3月会議の結果	2	議会活動トピックス	14
副町長の選任に同意	6	2月～4月の議会活動日誌	15
町政を問う 5人が一般質問	7	町民の声	16
追跡・あの一般質問を検証	13		



**3 子育て支援による
安心できるまちづくり事業**
事業費 5350万円

子どもたちが
のびのび遊べる
屋外遊び場を整備

2 認定こども園整備事業
事業費 5300万円

認定こども園の用地取得と
測量設計を実施

1 すこやか出産妊産婦支援事業
事業費 1170万円

妊婦健診費と妊産婦健診に係る
交通費の一部を助成

**平成28年度
重点事業
ピックアップ**

**6 おのまち中心市街地
賑わい創出事業**
事業費 2620万円

チャレンジショップや移動販売車
などを整備し、特産品開発や
販路拡大を図る

5 結婚支援事業
事業費 480万円

出会いの場
創出活動を行う
団体への支援、男女
の間を取り持つ
世話焼き人の育成

4 読書活動推進事業
事業費 310万円

読書に親しむ事業
(読書マラソン・
新聞等を楽しく読む
方法の講座など)
を実施

約10万冊の図書を蔵書
(小野町ふるさと文化の館図書館)

10 石綿セメント管更新事業
事業費 4810万円

石綿セメント管を
ポリエステル管等に
布設替え

9 新公共交通システム整備事業
事業費 330万円

交通弱者の支援を行うタクシー等の
試行運転を実施

8 防災・救急ヘリポート整備事業
事業費 920万円

防災ヘリコプターや
ドクターヘリコプター
に対応する常設の臨時
ヘリポートを整備

7 6次産業化・新振興作物推進事業
事業費 190万円

6次化商品の開発、小野
高校と連携した商品開発・
販売への取り組みを支援

定例会3月会議

3月3日～11日



予算審査特別委員会による現地調査(防災・救急ヘリポート整備予定地)

平成28年小野町議会定例会3月会議は、3月3日から11日まで9日間の日程で開かれました。

会議では、平成27年度各会計補正予算、平成28年度各会計当初予算、条例の制定及び一部改正など43件の町長提出議案と、議員提出議案7件が提出され、議案はすべて全員賛成で原案のとおり可決しました。

また、5名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをたしました。

平成28年度予算決まる 一般会計予算総額49億2300万円

平成28年度当初予算は、第四次小野町振興計画後期基本計画に基づく諸施策、まち・ひと・しごと創生総合戦略や過疎地域自立促進計画に基づく事業、さらには東日本大震災及び原子力災害に伴う放射線対策事業などに重点的に取り組む内容の予算が計上されました。

各会計の予算総額は下表のとおりです。

<平成28年度当初予算額>

会計区分		本年度予算額	前年度予算額	増 減	
一般会計		49億2300万円	50億2500万円	▲1億200万円	
特別会計	国民健康保険	14億8588万円	15億1040万円	▲2452万円	
	後期高齢者医療	1億795万円	1億637万円	158万円	
	除染対策事業	2225万円	5300万円	▲3075万円	
	介護保険	12億1954万円	11億7054万円	4900万円	
	介護保険サービス事業	327万円	325万円	2万円	
	浄化槽整備推進事業	8732万円	8549万円	183万円	
	文化・体育振興基金	291万円	313万円	▲22万円	
地方公営企業会計	水道事業	収益的收入	1億7073万円	1億6497万円	576万円
		収益の支出	1億6458万円	1億5973万円	485万円
		資本的收入	7843万円	1億1413万円	▲3570万円
		資本の支出	1億4509万円	1億9191万円	▲4682万円

※1万円未満切り捨て

条例の
制定・一部改正・廃止

条例制定3議案、条例の一部改正16議案、条例の廃止1議案を可決しました。
主な内容は次のとおりです。

◆小野町行政不服審査会設置条例

行政不服審査法の改正により、行政処分に対する不服申し立ての構造の見直しが行われ、不服申し立てに対する審査庁の採決を第三者機関が点検する必要があるため、諮問機関として小野町行政不服審査会を設置するものです。

◆小野町笑顔とがんばり子育て支援基金条例

子どもの健全育成と子育て支援を目的に基金を造成するものです。

◆小野町課設置条例の一部を改正

少子化対策や子育て支援等の取り組みを一元的に推進するため役場組織に「子育て支援課」を新たに設置するものです。

◆西牧門文庫基金条例を廃止

平成15年から西牧門^{まの}氏からの浄財を基に西牧門文庫基金を創設し、小野町図書館に西牧門文庫を設置し図書の購入に充てていましたが、平成27年度で基金の取り崩しが完了したため条例を廃止するものです。

◆小野町社会体育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正

小野運動公園内に今年3月に完成した多目的運動施設の使用料など運営に関する内容を加えるため改正するものです。使用料金は1時間あたり一般の方が500円、高校生以下は無料です。



▲多目的運動施設

全ての議案は、小野町議会のホームページに掲載の会議録からご覧いただけます。
(6月下旬掲載予定)

平成27年度補正予算額

※1万円未満切り捨て

会計区分		補正予算額	補正後予算額	
一般会計		9083万円	53億9539万円	
特別会計	国民健康保険	▲680万円	15億9259万円	
	後期高齢者医療	▲6万円	1億645万円	
	除染対策事業	▲913万円	3217万円	
	介護保険	1万円	11億9332万円	
	介護保険サービス	1万円	327万円	
	浄化槽整備推進事業	▲324万円	7139万円	
	文化・体育振興基金	132万円	468万円	
地方公営企業会計	水道事業	収益的収入	86万円	1億6556万円
		収益的支出	▲521万円	1億6115万円
		資本的収入	▲300万円	8789万円
		資本的支出	▲300万円	1億5155万円

平成27年度
各会計補正予算

平成27年度一般会計並びに各特別会計等の補正予算について審査し、全て原案のとおり可決しました。各会計の補正予算額については、右表のとおりです。

その他の議案

条例の制定や一部改正の議案のほか、次に次の議題についても可決しました。

◆小野町過疎地域自立促進計画の策定

今後、過疎地域の自立促進に必要な事業を、総合的かつ計画的に実施するうえで必要となる「小野町過疎地域自立促進計画」を策定するため、議会の議決を求められました。

◆町有財産賃貸借契約の変更

一般廃棄物最終処分場用地として株式会社ウイズウエストジャパンと締結している町有財産賃貸借契約が平成28年3月31日までであるため、平成30年3月31日までの2年間延長する契約変更をするため議会の議決を求められたものです。

◆小野運動公園多目的運動施設整備工事請負変更契約の締結

小野運動公園多目的運動施設整備工事の内容に変更が生じ、変更契約を締結するため議会の議決を求められたものです。
工事請負契約の場合、予定価格が5,000万円以上の工事に係る契約及びその後の変更契約の締結は議会の議決が必要です。

◆町道路線の認定

住民生活に密着した15路線、総延長5,569mを町道路線への新規認定を行うため議会の議決を求められたものです。

【町道認定路線一覧】

路線名	延長
山口・貝屋線	814m
上合内線	340m
宮ノ前・三又2号線	415m
壇ノ腰・三又線	719m
川向・中森線	227m
新田内2号線	270m
三王堂2号線	138m
竹ノ作線	255m
館廻・七生根線	565m
前久保3号線	142m
表前線	210m
穴子・寺谷津作線	537m
田ノ作・館ノ越線	516m
向永志田1号線	236m
向永志田2号線	185m

人事案件

◆先崎福夫氏の町監査委員の選任に同意

現監査委員の先崎福夫氏の任期が平成28年3月31日までのため、引き続き同氏の選任について議会の同意を求められ全員賛成で同意しました。



せんざき ふくお
▲先崎福夫氏

請願・陳情の審査結果

定例会3月会議では陳情2件の審査をしました。結果は次のとおりです。

番 号	件 名	請 願 者・陳 情 者	付託委員会	審査結果
陳 情 第 2 号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	日本労働組合総連合会 福島県連合会 田村地区連合会 議 長 吉 田 実	厚 生 産 業 常任委員会	採 択
陳 情 第 3 号	給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書提出の陳情について	福島県労働福祉協議会 田村地区労働福祉協議会 会 長 横 田 登	総 務 文 教 常任委員会	採 択

※陳情の審査は、付託された常任委員会で行います。付託とは、議案の議決に先立ち、議員で構成する各常任委員会に審査を分割して任せることです。

議員提出議案

7件の議員提出議案について全員賛成で可決しました。

◆小野町議会委員会条例の一部を改正



▲旧教育委員会事務所に子育て支援課を置く

小野町課設置条例の一部改正により、新たに設置された「子育て支援課」を厚生産業常任委員会の所管に加えるため提案したものです。

【議案提出者：宗像 芳男 議員】

◆特別委員会の設置

次の特別委員会を設置することについて提案したものです。

特別委員会は議会の内部組織として、特定の事項について詳しく調査するため、必要に応じて議会の議決により設置することができます。

なお、それぞれの特別委員会の概要については、14ページの議会活動トピックスをご覧ください。

○企業対策特別委員会の設置について

【議案提出者：籠田 良作 議員】

○議会改革特別委員会の設置について

【議案提出者：久野 峻 議員】

○公共施設検討特別委員会の設置について

【議案提出者：田村 弘文 議員】

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて提案したものです。

【議案提出者：竹川 里志 議員】

◆意見書の提出

陳情採択に伴い、意見書を内閣総理大臣等に出しました。

○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

意見書提出先：衆議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島労働局長 【議案提出者：竹川 里志 議員】

○給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書

意見書提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣 【議案提出者：会田 明生 議員】

◆意見書とは：

「地方公共団体の議会は、公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる（地方自治法第99条）」とされています。民意を国政などに反映する手段として議会に認められている権限です。

5人の議員が一般質問

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します
「会議録」をご覧ください。（6月下旬掲載予定）

会田 明生 議員 8ページ

- ◆ オール小野町でのまちづくりについて
- ◆ 事業仕分けについて
- ◆ 統計データから読める定住施策について

竹川 里志 議員 9ページ

- ◆ 認定こども園整備の進捗状況について
- ◆ 幼児教育について
- ◆ 小野町人口ビジョンについて
- ◆ 少子化対策について

籠田 良作 議員 10ページ

- ◆ 旧公立小野町地方総合病院の跡地利用について
- ◆ 右支夏井川・車川の堤防沿いの防犯灯の増設について

田村 弘文 議員 11ページ

- ◆ 公共施設等整備検討委員会答申後の認定こども園の整備計画について
- ◆ 将来の幼児数を考慮した、現時点で考えている認定こども園の敷地及び建物規模について
- ◆ 認定こども園施設の整備及び運営について
- ◆ 子育て世帯経済支援基金の支援を受けられる世帯の基準について
- ◆ 1世帯当たりの支援金の上限及び支給等について
- ◆ 現在運行しているスクールバスの運行基準について
- ◆ 遠距離通学児童生徒のためのスクールバス運行について

渡邊 直忠 議員 12ページ

- ◆ 町の将来ビジョンについて
- ◆ 市町村合併について
- ◆ 公立小野町地方総合病院の医師不足、夜間診療について
- ◆ 公立小野町地方総合病院の運営について
- ◆ スクールバス利活用の問題点から新規事業について
- ◆ 県立小野高等学校の支援について
- ◆ 地域活性化策について
- ◆ 商圏拡大・地産地消について
- ◆ ふるさと納税を活かしたまちづくりについて
- ◆ 地域の持続のための少子化・UJIターン支援策について
- ◆ 政策立案協議会について
- ◆ まちづくり有識者会議について
- ◆ 町民協働システムについて

3月第1回会議を開催

3月29日に平成28年小野町議会3月第1回会議を開催し、副町長の選任について賛成多数で同意しました。

副町長に阿部京一氏を選任

3月31日付けで副町長を退任した鈴木慎也氏の後任として、前小野町総務課長の阿部京一氏を選任することについて議会の同意を求められたものです。

任期は平成28年4月1日から平成32年3月31日までの4年間です。



あべ ぎょういち
▲阿部 京一氏

問 小野町人口ビジョンについて

答 人口減少に歯止めをかける 取り組みを進める

問 政府は人口減少に歯止めをかけるため、各自治体に人口ビジョンを作成させ、創意工夫の人口減少問題の戦略づくりを求めています。昨年実施の若い世代へのアンケート調査結果を踏まえての将来に向けた人口減少問題に対する全体的な取り組みを伺います。

町長 新たに役場組織に「子育て支援課」を設置し、子育てに関する環境整備や結婚・出産につながる施策等を二元的に推進するとともに、定住・地域居住の推進、創業支援などの新たな産業の創出、空き家の有効活用など、人口減少に歯止めをかけるための取り組みを進めています。



竹川 里志 議員

問

2つの視点に立った
少子化対策を展開する

問 人口減少の歯止めには各自治体の対策や工夫次第で違いが出てきますが、小野町が今後取り組む少子化対策の内容を伺います。

町長 小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略には、独身者に結婚してもらう視点と既婚者にも多く子供を産んでもらう視点という、2つの視点に立った少子化対策を盛り込んでいます。

独身者に結婚してもらう取り組みでは、出会いの場や若者同士の交流活動などへの支援を行うとともに、地域の世話焼き人を養成し、結婚・婚活に対する情報提供などに取り組んでいます。

また、既婚者に向けた取り組みでは、子育て応援基金の造成や認定こども園整備の推進、さらには子供の遊び場など



元気に楽しく遊ぶ園児たち

問 オール小野町でのまちづくりについて

答 多くの方々との意見を町づくりに反映

問 町長はまちづくりの考え方のひとつに、オール小野町と表現しています。オール小野町とは、多くの町民の方や団体、企業等との対話を通じて意見を伺い、まちづくりに反映させていく考えであると認識しています。

オール小野町の考え方を具体化する方法として、どのような考えがあるのか伺います。

町長 私は、町民の皆様との協働により、町民丸となってという意味を込めてオール小野町という言葉を使っています。

これを具体化する方法としては、子育てを行う方や地域で活動されている方をはじめ、町



会田 明生 議員

内の関係機関の皆様からの意見をまちづくりに反映させる方法が考えられます。

問

統計データから読める定住施策について

答

定住施策として住環境の整備は重要

問 国勢調査など各種統計データから、人口の推移や就業者の状況等を踏まえると、町外に働きに出ている人の流出の防止、町外から小野町に働きにきてい

る人の移住促進、女性の働きやすい環境整備などが必要と考えます。町としては、働く世帯の定住施策をどのように考えているのか伺います。



UJIターン希望者に旧校長住宅を貸出(旧浮金中学校長住宅)

町長 働く世代の定住施策という観点から、住環境の整備は重要であると考えます。

現在、誘致企業の従業員に対する家賃補助の実施や、本年度から新たにUJIターンする方に対して、旧校長住宅を貸し付ける制度などを実施しています。

今後は空き家の有効活用などを含め、住環境の整備に努めていきたいと考えます。



問 認定こども園施設の整備及び運営について

答 町主体で事業を進める

町長 認定こども園の早期整備、運営を図るため、町が主体となり事業を進めていきます。なお、今後の施設の運営方法は、社会情勢の変化等を考慮しながら、民間委託も含めて様々な可能性を検討する必要がありますと考えます。

問 公の施設の整備運営に関しては、市町村が整備して運営を民間に、または団体に委託する指定管理者制度を導入している自治体もかなり見受けられ、運営形態が変わりつつあります。小野町では、認定こども園の整備と運営は公設公営で対応していくのか、町長の考えを伺います。



田村 弘文 議員

再質問 認定こども園の運営に関して、庁舎内部では公営または民営の検討はされていたのか伺います。

町長 民間委託も含めて様々な可能性を検討してまいります。



町長 今のところは考えていません。

問 上羽出庭行政区では、夏井第一小学校の廃校後、小野町教育環境整備の基本方針のもと平成28年度までに小学校1校の統合を見据えて、小野新町小学校に通わせることを選択し、4月からは12名の児童が通学しています。このため児童の保護者または家族は片道10キロ以上の通学の足を確保しており、保護者や家族の負担は大きい状況にあります。

答

スクールのバス運行改善に取り組む

教育課長 算定していませんが、現在運行している他の路線では、1ヶ所所年間約500万円程度となっています。



児童・生徒の通学手段として運行中のスクールバス

再質問 上羽出庭行政区と小野新町小学校を結ぶ路線にスクールバスを運行する場合、どのくらいの経費が見込まれるのか伺います。

町長 児童・生徒の安全・安心な通学手段の確保は大変重要であります。どのような方法が公正・公平を保ちながら実施できるか考えなければなりません。

問 旧公立小野町地方総合病院の跡地利用について

答 住宅地・公園緑地などを想定



籠田 良作 議員

問 旧公立小野町地方総合病院の跡地利用の構想について町長の考えを伺います。

町長 旧公立小野町地方総合病院の跡地利用について現段階での私の考えは、住宅地や公園緑地などの限定的なものになると想定しており、右支夏井川河川改修事業に伴う家屋移転対象者の代替住宅用地としても活用できればと考えています。

今後移転先の確定していない方の意向確認等に努め、跡地の利用計画に反映させていきたいと考えます。

再質問 家屋移転対象者の中には、高齢者世帯またはひとり暮らしの方



町長 引き続き移転対象の方々の意向確認を行い、町営住宅建設の必要性も含めて、移転対象者に対する住宅の確保について十分に検討していきたいと考えます。

方がおり、その方たちは小野町から離れたくないので、町で集合住宅を建設して、みんなと一緒に住みたいという話を聞きます。このことについて町長の考えを伺います。

問

右支夏井川・車川の堤防沿いの防犯灯の増設について

答

防犯対策は大変重要である

取り組む考えです。

問 右支夏井川、車川堤防には防犯灯が少なく、また、桜の樹木の陰に隠れて明かりがまばらであり、非常に暗く感じます。両堤防は、小・中学生、高校生また一般の方の通勤・通学の主要道路であります。町では安心・安全のまちづくりを推進していますが、事件・事故があらうからでは遅いです。そのためには、防犯灯の増設を早急に行い、安心して歩ける環境を整備する必要がありますが、町長の考えを伺います。



防犯灯の増設が求められる(車川堤防)

問

遠距離通学児童生徒のためのスクールバス運行について

ます。小野町教育環境整備の基本方針の見直しの中で得られたご意見にしっかりと耳を傾け、スクールバスの運行改善に取り組んでいきます。

を図るためにも、スクールバス運行を早急に見直しするべきであると思いますが、スクールバスの現在の運行と将来の運行について、町長はどのように考えているのか伺います。

追跡

どうなった？ あの一般質問を検証！

過去の一般質問から「検討したい」という答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応を検証します。

窓口のプライバシー保護について

質問

窓口では、各種証明書の発行や相談など幅広い業務が行われています。窓口を訪れた方が、安心して相談できるなど、プライバシーの保護に配慮した相談・手続きのスペース確保と記載台の改善が必要であると思いますが町長の考えを伺います。

答弁

現在の役場庁舎は手狭であり、窓口に必要な相談スペースを設置することは難しいところではありますが、できる限り近い場所に、相談者等のプライバシーに配慮した新たな相談スペースの確保と記載台の改善を検討していきたい。

その後

平成28年3月に役場窓口の改修を行い、受付カウンターを低くして仕切りを設け、よりプライバシーに配慮し、丁寧な手続きが行えるようにしました。
今後も、職員の接遇向上とあわせ、ワンストップサービスの拡充と明るい窓口づくりを心掛けていきます。

全戸に個別受信機を設置し広報活動に利用してはどうか

質問

タイムラグなしで町広報等の情報を公正に発信するため、全戸に戸別受信機を設置してはどうか。

答弁

近隣の事例なども含め必要性、活用方法等を調査し、検討していきたい。

その後

防災行政無線は、災害発生時に町民の皆さんに情報を伝達する有効な手段の一つであり、町では、難聴地域の解消に努めてきました。
現在、国では防災行政無線のデジタル化を推進していることから、検討の結果、防災行政無線のデジタル化と併せて戸別受信機的全戸設置を進めていきます。
なお、事業の実施にあたっては、多額の費用を要することから、国補助金の活用など財源の確保に努めます。

問

地域活性化策について

答

これまでの取り組みを継続

町長 町では、これまで地域づくり応援事業や小野町夢企画提案制度などのほか、福島の地域創生総合支援事業などを活用し、地域づくりを支援してきました。
今後ともこれまでの取り組みを続け、町民の皆様のご意見をお聞きし、また他の自治体の実施状況も参考にしながら進めていく考えです。

問 産業振興、人口減少、少子化、U・J・ターン、若者が活躍できる場や小野町チャレンジ事業、集落支援員、6次化支援員などの創設による地域活性化が必要であると考えますが町長の考えを伺います。



渡邊 直忠 議員



首都圏在住者らに町の魅力をPR(小野町ふるさと暮らしセミナー)



問

商圈拡大・地産地商について

答

地元商店等の積極的利用を働きかける

問 商圈拡大を図るためプレミアム商品券を継続して販売し、販売量の増加や地元商店利便性の増、さらには近隣町村からの消費者を増やす必要があると考えます。
また、地元商店の利便性の重視という点から小野町職員に対して地元購買の協力要請をお願いしたいと考えます。
このことについての町長の考えを伺います。



昨年発行の「小野町プレミアム付商品券」

また、地産地商については、地域活性化のため大変重要なことであると考えます。職員に対しては、日ごろより地元の商店や飲食店を利用するよう話しており、今後も職員はもとより、多くの町民の皆様が地元を愛し、地元の商店等を積極的に利用していただくよう働きかけていきたいと考えます。

議会活動日誌

2月

- 1日 全員協議会
小野町議会2月第1回会議
- 4日 議会広報編集委員会
- 9日 田村広域行政組合議会全員協議会（三春町）
- 10日 月例全員協議会
- 12日 小野町と東邦銀行との包括連携協定締結式
- 16日 田村広域行政組合議会（三春町）
- 17日 県議長会主催新人議員研修会（福島市）
- 18日 郡山地方広域消防組合議会（郡山市）
- 21日 百歳賀寿贈呈式
小野山神ふれあい館落成式
- 22日 新人議員研修
- 24日 福島県町村議会議長会定期総会（福島市）
- 26日 百歳賀寿贈呈式
例月出納検査
- 29日 議会運営委員会
全員協議会

3月

- 1日 小野高等学校卒業式
- 3日～11日 小野町議会定例会3月会議
葉たばこ播種状況視察
- 10日 小野中学校卒業式
- 11日 月例全員協議会
- 18日 小野わかば幼稚園卒園式
浮金つつじ児童園卒園式
小野町交通安全対策協議会
小野町認定農業者会総会
- 23日 飯豊小学校卒業式
浮金小学校卒業式
小野新町小学校卒業式
夏井第一小学校卒業式
全員協議会
- 24日 郡山地方広域消防組合議会
- 25日 例月出納検査
- 26日 中央さくら保育園卒園式
飯豊ひまわり保育園卒園式
夏井おおすぎ保育園卒園式
- 29日 公立小野町地方総合病院企業団議会
小野町議会3月第1回会議



▲3月10日 葉たばこ播種状況視察

4月

- 4日 中央さくら保育園入園式
飯豊ひまわり保育園入園式
夏井おおすぎ保育園入園式
- 6日 小野中学校入学式
飯豊小学校入学式
浮金小学校入学式
小野新町小学校入学式
夏井第一小学校入学式
- 7日 浮金つつじ児童園入園式
- 8日 小野わかば幼稚園入園式
- 11日 小野高等学校入学式
- 12日 月例全員協議会
小野町観光協会総会
- 15日 田村地方町村議会議長会定期総会（三春町）
- 17日 小野運動公園多目的運動施設落成式
- 19日 田村広域行政組合議会全員協議会（三春町）
阿武隈高原中部観光連絡協議会（田村市）
- 24日 小野町消防団春季検閲式
- 25日 例月出納検査
- 29日 川の手荒川まつり（東京都）
こまち桜回廊まつり



▲4月29日 川の手荒川まつりに参加

議会活動トピックス

特別委員会を設置しました

小野町議会では、「企業対策特別委員会」、「議会改革特別委員会」、「公共施設検討特別委員会」の3つの特別委員会を設置しました。
それぞれの特別委員会の概要は次のとおりです。

【企業対策特別委員会】

●設置目的

企業誘致対策や町内企業の安定的操業の支援に取り組み、地域産業の活性化と雇用の場の確保に向けて活動します。

●委員会構成（委員：6人）

委員長／会田 明生 副委員長／田村 弘文
委員／吉田 康市、久野 峻、水野 正廣、籠田 良作

【議会改革特別委員会】

●設置目的

議会機能の充実を図るため、議会改革に関する諸課題の調査研究を行い、議会改革と政策議論の有り方等について検討します。

●委員会構成（委員：全議員）

委員長／竹川 里志 副委員長／宗像 芳男
委員／村上 昭正、吉田 康市、佐藤 登、久野 峻、遠藤 英信、水野 正廣、籠田 良作、田村 弘文、会田 明生、渡邊 直忠

【公共施設検討特別委員会】

●設置目的

認定こども園、温浴・交流複合施設、保健センター、役場庁舎など公共施設の整備に関する調査・検討を行います。

●委員会構成（委員：全議員）

委員長／久野 峻 副委員長／渡邊 直忠
委員／村上 昭正、吉田 康市、佐藤 登、遠藤 英信、水野 正廣、籠田 良作、田村 弘文、宗像 芳男、竹川 里志、会田 明生

開かれた議会を目指して

開かれた議会を目指して、これからは議案等に対する各議員の賛否を公表します。
紙面の関係上、定例会3月会議と3月第1回会議の議案等の賛否は、次号（第147号）に掲載します。

それほど長い期間ではありませんが、小野町に来てから町議会議員の方と話をすることが何度ありました。移住する前はこのような議員の方と直接会話を交わすことなどほとんどなく、議会というものはかなり遠い存在でした。それだけに身近で、町民の声が議会に反映しやすい小野町で、自分たちの意見を伝えられるよう、私自身も考え方が変化し、なるべく町や地域に関わることは積極的に参加するべきと思うようになりました。

そして今、私は小野町に一人でも多くの方に移住してもらえよう、定住コーディネートという仕事もさせてもらっております。

今後は移住したいと考える方も身近である議会にしっかりと届けて、活気ある町づくりのお手伝いができるようにしていきたいと思っています。また、これから議会には町民の声をしっかりと聞いていただき、あらゆる意味で子供たちが安心して暮らすことのできる町づくりを心掛けていただければと願っております。



岡田 聡さん

小野町に移住してきてもうすぐ3年がたとうとしています。

私は、小野町主催の親子ふれあい教室に「キッズクラブ」のボランティアスタッフとして参加させていただいていますが、参加してくださるお母さん方からは、未就学児童の親子がいつでも気軽に過したり相談できる母子センターや遊び場の環境、小中学校生のスクールバスなどの通学環境がもっと充実して欲しいとの声を多く聞きます。

近隣市町村に似たものではなく、子育て世代の声が反映された小野町らしい環境づくりができれば、少子化なども改善していってくれるひとつになるのではないかと思います。

町民が楽しく安心して生活できる環境づくりを今後も期待していききたいと思っています。



末永 朋美さん

リニューアル後の議会だよりとても読みやす

定例会6月会議は6月8日(水)に開会の予定です。

一般質問は夜間議会で6月9日(木)と10日(金)の予定です。

傍聴をお待ちしています! ※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

小野町公式
イメージキャラクター
「小桜ちゃん」



山々の木々も緑濃くなり、田植えも終わり、町民の皆様にはご健勝にて、お過ごしのことと思います。

人口減少や少子高齢化などが町を取り巻く課題は山積していますが、議会としては、これら諸課題に対して迅速に対応して参りますので、町民皆様のご理解をお願いいたします。

わたしたち議会広報編集委員会は、町民の皆様にご愛読いただける広報紙づくりに努めています。次号からは議案等に対する各議員の賛否も公表する予定です。さらに充実した紙面づくりに取り組んでいきます。

これから梅雨時に入り不順な天候が続きますが、どうぞご愛ください。

議会広報編集委員会副委員長

吉田 康市